

はじめに

近年、ベテラン世代の退職により技術伝承不足が要因と思われる危険物等の事故が、全国各地で見受けられるようになってきました。

そのような背景を踏まえ、川崎市危険物等保安審議会では、危険物等を取扱う事業所における事故の未然防止を目的として、このたび過去の事故事例の教訓を効果的に学習できる「危険物等事故事例から学ぶ教育資料」を上梓しました。

本活動は、当審議会の前身である川崎市危険物保安研究会により平成27年1月に開始された検討を引き継ぎ、各委員のご協力の下、各種事故事例の収集や教訓の抽出、解説や関連情報の追記などを行い、ここに完成しました。

本教育資料の作成にあたっては、以下の項目にポイントを置いています。

- ・単なる事故事例にとどまらず、教育に重点をおくこと
- ・設問や解説等を加え、活用しやすいものにする

なお、掲載した各事故事例は、主に市内事業所で実際に発生した事象を教材とし、また、場合により教育の視点をより明確にするため想定事象等も追加しながら分かりやすく編集しています。

この「危険物等事故事例から学ぶ教育資料」が、多くの事業所において教育に活用され、危険物施設等の事故の防止に役立つことを祈念いたします。

末筆ながら、本活動を推進するに当たり、当審議会関係者及び川崎市消防局の皆さんからの多大なる支援をいただき、心より御礼申し上げます。